

柏市男女共同参画推進計画の進行状況について

基本課題Ⅰ～Ⅵの平成17年度分の進行状況について、平成18年5月から6月にかけて調査を実施し、次のとおり結果をまとめました。

なお、平成17年度に柏市男女共同参画推進計画の前期5年が終了したため、目標の見直しを行いました。平成18年度からは「柏市男女共同参画推進計画（中期）」に基づき施策を進めていきます。

(＊1) 事業におけるジェンダーの視点

- 1 女性への人権尊重が期待できる。
- 2 自分の生き方を自分で決めることができる。
- 3 性別役割分担意識の解消が期待される。
- 4 企業・経営者の男女平等意識の向上が期待される。
- 5 地域社会や団体等で女性がリーダーシップを発揮する事が期待される。
- 6 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる。
- 7 性別に関係なく、個人がその個性・能力に応じた学習機会を提供できる。
- 8 仕事と育児両立支援のための環境を整えることにより、女性の労働分野への参画を促進する事ができる。
- 9 その他

(＊2) 目標に対する達成度の区分

- a 相当に進んだと思う。
- b 少しは進んだと思う。
- c どちらとも判断できない。
- d あまり進んでいない。
- e 全く進んでいない。
- f この事業には該当しない

柏市男女共同参画推進計画の進行状況（基本課題Ⅰ～Ⅵ 平成17年度実施分）

基本課題Ⅰ 人権（女性の人権及び性を尊重する）

目標1 女性の人権を擁護するための環境づくり

施策	具体的な施策	実施状況	ジェンダーの視点	達成度	担当課
(1) 女性に対するあらゆる暴力の排除	①相談体制の充実 女性に対するあらゆる暴力を排除するため、暴力の被害を受けた女性が安心して相談できる窓口の充実を図るとともに、関係機関との連携を強化します。 ・相談窓口の充実 法律相談 人権相談 家庭児童相談 母子相談 ・関係機関の連携強化 警察 病院 女性センター 婦人相談所 保健所 民間グループ ・DV加害者の相談に関する情報収集	・相談窓口の充実 広報広聴課にて、弁護士による法律相談、人権擁護委員による人権相談、市民相談員及び職員による市民相談を実施した。(DV相談件数36件) 児童育成課にて、女性相談を実施し、暴力を受けた女性の相談・支援を行った。(DV相談件数92件)	1, 2	b	広報広聴課
		男女共同参画室にて、女性のこころと生き方相談を実施し、暴力を受けた女性の相談・支援を行った。(DV相談件数52件) 庁内関係各課の職員及び相談員が、DV・児童虐待相談地域担当者研修や女性相談講座に参加し、DV問題に関する知識や相談者への対応技術の向上に努めた。	1, 2	b	男女共同参画室
		・関係機関の連携強化 関係機関との連絡会議(DV対策担当課長会議 DV被害者支援連絡会議、柏警察署管内犯罪被害者支援連絡協議会総会)にて、情報・意見交換を行った。	1, 2	b	関係部署
	・DV加害者の相談に関する情報収集 柏市インターネット男女共同参画推進センター(参画eye)にて、国や県が実施しているDV加害者の相談や講座について情報提供した。	1, 2	b	男女共同参画室	

<p>②人権尊重と女性への暴力防止に関する広報、啓発 女性に対するあらゆる暴力を許さない社会づくりのため、暴力の実態を把握するとともに、広報、意識啓発に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム、情報紙等による啓発 ・広報紙、ホームページの活用 ・暴力に関する意識実態調査 	<p>・シンポジウム、情報紙等による啓発 11月22日、県・県警・市主催により、柏駅東口で「女性に対する暴力をなくす運動」街頭キャンペーンを実施し、相談窓口の周知や暴力防止への啓発を行った。 男女共同参画週間及び女性に対する暴力をなくす運動期間中、女子トイレ等にDV相談カードを設置した。また、10月の講演会にて女性のこころと生き方相談に関する啓発用品を配布した。</p>	1, 2	b	男女共同参画室
	<p>・広報紙、ホームページの活用 広報かしわ10月15日号で市民意識調査の結果を、11月15日号（人権週間）で人権相談に関する記事を掲載した。 毎月1日発行の広報かしわに相談窓口の案内を掲載している。また、市のホームページに広報かしわの内容を掲載している。 参画eyeにて、相談窓口やDV防止法等の紹介、暴力関連のトピックスやイベント記事を掲載した。</p>	1, 2	b	広報広聴課
	<p>・暴力に関する意識実態調査 7月の市民意識調査において、女性の人権侵害やDV被害・相談状況などについて調査を実施した。</p>	1, 2	b	男女共同参画室
	<p>③DV被害者の一時保護事業への取組 被害を受けた女性の一時的保護施設の整備についての検討や自立に向けて民間団体の協力のもとに支援を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時保護施設の整備検討 ・保護施設との連携（民間シェルター等） 	<p>・一時保護施設の整備検討 一時保護を行う民間シェルター（NPO法人かしわふくろうの家）に対し、500,000円の補助金を交付した。</p>	1, 2, 6	b
	<p>・保護施設との連携 一時保護を希望する被害女性を一時的保護施設等へ避難させた。（4件）</p>	1, 2	c	児童育成課

(2) メディアにおける女性の人権の尊重	①公的機関が発行する広報・出版物等に対するガイドラインの作成 男女平等の視点から、公的出版物等に関するガイドラインの作成をすすめます。 ・ガイドラインの作成と活用	・ガイドラインの作成と活用 今後の実施を検討したい、	1, 3	e	男女共同参画室
	②市民、企業、団体等への情報提供と啓発 メディアにおける性の商品化や暴力的表現等、女性の人権を侵害した表現に対し、人権を擁護するよう啓発に努めます。 ・女性の人権に対する配慮についてメディアへの働きかけ	・女性の人権に対する配慮についてメディアへの働きかけ メディアへの働きかけは行っていないが、参画 e y e にて関連記事などの情報提供を行っている。	1	c	男女共同参画室
	③メディア・リテラシーの育成 メディアから提供される情報を男女平等の視点から判断する力をつけるためのメディア・リテラシーの向上のための学習機会を提供します。 ・「メディア・リテラシー」の向上のための学習機会の充実	・「メディア・リテラシー」の向上のための学習機会の充実 今後の実施を検討したい、	1, 3	e	男女共同参画室

目標2 女性の生涯を通じた性と生殖に関する健康・権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）の理解促進

施 策	具 体 的 な 施 策	実 施 状 況	ジェンダーの視点	達成度	担 当 課
(1) リプロダクティブ・ヘルス/ライツの理解と普及	①リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する啓発 女性が自分の身体に関することは自分で決めることができるよう「性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）」の趣旨についての周知や情報提供に努めます。 ・広報紙等による情報提供 ・母親学級 保健栄養講座 女性の基本35	・広報紙等による情報提供 参画eyeの女性問題キーワードにて、趣旨の説明をしている。また、関連するトピックス・イベント記事を掲載している。	1, 2	d	男女共同参画室
		・母親学級 保健栄養講座 女性の基本35 初妊婦を対象に母親学級を実施した。(参加者数785人) 妊婦と家族を対象に保健栄養講座を実施した。(参加者数146人) 35歳の女性を対象に、健康診断と併せて、希望者に骨粗しょう症検診を実施した。 女性や家族の健康づくりも含めあらゆる機会を通じて推進している。	7	b	健康推進課
	②性に関する正しい知識、情報の提供、学習機会の充実 性に対する理解と尊重は男女がパートナーシップを保つうえで大変重要です。「性と生殖に関する健康と権利」の理念について学習機会の充実と情報提供に努めます。 ・学校における性教育の充実 ・市民との協力による性教育副読本の作成 ・家庭における性教育の充実	・学校における性教育の充実 養護教諭及び保健主事を対象とした研修会を開催し、児童・生徒を対象とした性教育のあり方について研修を実施した。 養護教諭会の研究班「生と愛と性」グループに性教育の進め方を研修してもらった。	1, 2	b	学校保健課
		・市民との協力による性教育副読本の作成 性教育副読本は作成していない。 参画eyeにて関連ニュースや性教育講座等の情報提供を行った。	1, 2	c	男女共同参画室

		<p>・家庭における性教育の充実 各近隣センターで次の講座を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>近隣センター名</th> <th>テーマ [講座名]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>田中</td> <td>保健室から見た子どもたち [スクラム子育てセミナー]</td> </tr> <tr> <td>高田</td> <td>性共育から学ぶ [家庭教育学級]</td> </tr> <tr> <td>新田原</td> <td>中学生のこころとからだ(公開講座) [家庭教育学級]</td> </tr> </tbody> </table>	近隣センター名	テーマ [講座名]	田中	保健室から見た子どもたち [スクラム子育てセミナー]	高田	性共育から学ぶ [家庭教育学級]	新田原	中学生のこころとからだ(公開講座) [家庭教育学級]	1, 2, 3, 7	b	近隣センター
近隣センター名	テーマ [講座名]												
田中	保健室から見た子どもたち [スクラム子育てセミナー]												
高田	性共育から学ぶ [家庭教育学級]												
新田原	中学生のこころとからだ(公開講座) [家庭教育学級]												
(2) 女性の健康保持と増進	<p>①女性の健康支援 女性は、妊娠・出産や更年期など、生涯を通じて心身共に大きな変化があります。それらの変化に対応した健康診査、保健相談等により健康づくりを支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦の健康診査、相談及び指導 ・女性の健康管理に関する講座等の実施 ・女性のための各種健康診査等の充実 	<p>・妊産婦の健康診査、相談及び指導 母子健康手帳の別冊の受診券(2回分)により、健康診査の助成を実施している。 相談・指導については、訪問、新生児・妊産婦訪問指導、電話相談、母子保健コーナー・健康管理センターでの面接、母と子のつどいなどで実施した。(相談・指導件数約26,500件)</p>	2, 7	b	健康推進課								
		<p>・女性の健康管理に関する講座等の実施 女性の基本35(35歳対象の健康診査)を受診した要指導者に対し、健康づくり相談において事後フォローを行った。 柏市民健康づくり推進員と協働で行う地域の健康づくり活動や、生涯学習セミナーを通じて、講座や相談・保健指導を実施している。</p>	2, 7	b	健康推進課								

		<ul style="list-style-type: none"> ・女性のための各種健康診査等の充実 乳がん検診, 子宮がん検診, 女性の基本35(35歳対象の健康診査)を実施した。 また, 柏市医師会など関係機関で組織する「健康づくりシステム検討会」において, 効果的な健康教育や健康診査のあり方等について検討を重ねた。 	2, 7	b	健康推進課
<p>②女性の健康をおびやかす問題についての情報提供</p> <p>有害物質による食品汚染などの問題が生じています。生命, 健康を守るための生活環境づくりや人体への影響等について, 男女が理解を深めていくための情報提供に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全のための啓発事業の充実 ・有害物質発生抑制のための啓発事業の充実 ・広報紙等による情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全のための啓発事業の充実 手賀沼船上見学会を実施し, 手賀沼の現状と浄化の重要性について啓発を行った。(参加者数約2, 000人) 6月に, 地球温暖化をテーマに環境パネル展を実施した。 	7	b	環境保全課	
	<ul style="list-style-type: none"> ・有害物質発生抑制のための啓発事業の充実 快適な生活環境を維持するために, 大気, 水, 騒音等の環境状況の情報提供をはじめ, 柏市環境保全条例や柏市ダイオキシン類発生抑制条例に基づき公害苦情の相談を受け, 状況把握とともに指導助言を行った。(公害苦情相談件数330件) 	7	b	環境保全課	
	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙等による情報提供 たばこ等の害について, 母親学級・両親学級・母子健康手帳交付時にチラシを配布し啓発した。 乳がん検診の問診票や集団検診会場において, 乳がんの自己検診に関する情報提供を行った。 	7	a	健康推進課	